経緯

農学生命科学部同窓会
（1956年発足）

母校の発展に積極的に寄与し、会員相互の連絡・親睦を図ることを目的として、諸活動を継続。
卒業生の進路や生活様式の多様化に伴い、同窓会と卒業生との関わり方も変化してきている。

弘前大学校愛会
（2024年4月より事業開始）

2024年4月以降、入学者は全員加入。
在学生・卒業生は任意で入会可能。
学部・研究科の垣根を超えた卒業生及び在学生と大学とのネットワークづくりを目的として、各種企画やイベントを実施。

現状

学部同窓会及び校愛会がそれぞれで名簿を管理しているため、個々の卒業生にまで各種情報が到達していない
（ex.同窓会主催事業の情報、校愛会主催の各種企画・イベント情報　等）

↓

卒業生に本学の情報を届け続けるための体制を作る必要

課題

解決すべきこと・その対応

① 校愛会及び同窓会名簿の管理方法
▶**校愛会が学部同窓会の名簿を共有する**

② 記載情報の確認と最新化
▶**確実に連絡がとれる情報に更新する**

③ 現状の連絡方法（学部同窓会では郵送が中心）
▶**連絡方法を郵送からメールへシフト**

④ 持続可能な管理の問題
▶**校愛会が学部同窓会員への連絡機能を担う**

学部同窓会員より大学との名簿共有について同意をもらい、共有管理することで同窓会と大学との連携強化につなげたい

概要

現在　～それぞれの会で管理～

保有している名簿の会員に対して、各会より各種案内等を送付

同窓会

同窓会
会員名簿

連絡方法は主に郵送

校愛会

校愛会
会員名簿

連絡方法は主にメール

今後　～共有管理の場合～

同窓会

同窓会
会員名簿
（許諾あり）

同窓会
会員名簿
（許諾なし）

校愛会

校愛会
会員名簿

連絡方法は主にメール

**許諾ありの同窓会員に対して、
各種情報を提供することが可能に。**

- **同窓会からのお知らせ**
  （例：総会や会報発行の案内　等）
- **校愛会からのお知らせ**
  （例：ホームカミングデイ　等）
- **その他、卒業生向け情報等**

共有 ≠ 校愛会員

※共有することで同窓会員が校愛会員になる訳ではない
※校愛会への入会は、従前どおり希望者が各自にて行う
（もしくは寄附により特別会員となる）